

## 第5期総合計画：重点施策推進管理評価調書【重点項目7】

	評価年度	平成27年度
<b>重点項目</b>	<b>7 情報の共有を進め参加の輪が広がるまちづくり</b>	
	町からの情報提供を充実させ、町民と町の情報の共有を進めるとともに、誰もがさまざまな分野に参加できるまちづくりを進めます。	

	分野	施策	施策の内容	27年度 評価	26年度 評価	担当課	計画書 掲載頁	
重点施策	コミュニティ	情報共有、意見交換の場の充実	町民と町の情報共有、意見交換の機会として、まちづくり懇談会など対話の場づくりを広めます。	5	5	広報広聴課	94	
	町民参加	まちづくりの場への町民参加の促進	まちづくりに関するさまざまな分野やテーマにおいて、パブリックコメント制度の実施をはじめ、ワークショップ、出前講座などを開催し、町民参加を進めます。	4	4	企画課	95	
	男女共同参画	人権の尊重を基本とする男女共同参画の意識づくり	男女共同参画の認識を深めるため、広報・啓発の充実に努めます。	4	4	企画課	97	
	広報、広聴、情報公開	広報紙の充実	広報紙の充実	町民にとって見やすい、わかりやすい広報紙となるよう、町民のニーズをふまえた情報提供、紙面づくりに努めます。	5	5	広報広聴課	99
			情報公開の推進	情報公開条例に基づき、町の情報の積極的な公開に努めます。	4	4	情報・防災課	
			ホームページの充実、インターネットの活用	広報手段としてホームページがより一層活用されるよう、内容の充実と管理、見やすさの向上などに努めます。	5	5	広報広聴課	
	財政運営	健全な財政運営の推進	財政収支の中長期的計画を策定し、健全な財政運営に努めるとともに、成果をわかりやすく公表します。	5	4.50	財政課 上下水道課	103	
重点施策の推進状況評価の平均				4.57	4.50			



評価区分	A 順調に進んでいる (4.50~5.00)		A
	B 概ね順調に進んでいる (4.00~4.49)		
	C 推進が必要 (3.00~3.99)		
	D 更なる推進が必要 (0~2.99)		

推進状況	重点項目7は、1施策で推進状況が進展した。町民自治によるまちづくりを進めるため、町民と町の対話の機会の充実や、広く町民がまちづくりに参加しやすい環境づくりを一層進めていく必要がある。また、男女共同参画の推進については、26年度に推進計画を策定し、これに基づき施策を推進している。その他の施策については、順調又は概ね順調に進んでおり、広報紙、ホームページ等による情報発信の充実や健全な財政運営に努めている。
------	--

評価結果	<p>情報共有に関して、声のポストやメールボックス等から寄せられた町民の要望や意見を、公表できる範囲でホームページ等に掲載して情報共有する取組が必要ではないか。</p> <p>町内会に関して、転入届を出した人に対して会長を紹介する等、加入率を上げるための工夫が必要である。</p> <p>パブリックコメントに関して、コメント数があまり多くない要因は、様式が自由記載である等、意見をすることへのハードルが高いことが考えられるので、意見をしやすいような工夫が必要である。</p> <p>ワークショップに関して、計画策定に関わったメンバーが再度集まって、実施した計画の評価や検証を行う場を継続的に設ける必要がある。</p> <p>男女共同参画に関して、一般事業主行動計画を策定している町内の企業数が何社あるか等、男女共同参画の認識があって実際に取り組んでいる企業数が把握できるような目標指標を設定する必要がある。</p> <p>町内の様々な機関の男女共同参画に関する取組を把握する必要がある。</p>
------	---

重点施策	7 情報の共有を進め参加の輪が広がるまちづくり
------	-------------------------

分野	コミュニティ
----	--------

施策	情報共有、意見交換の場の充実
----	----------------

●目標指標の推移

区分	目標指標名	説明	単位	当初数値(年度)	中間数値(年度)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績	32年度実績	目標値(H32)
指標1	まちづくり懇談会の実施回数	地域毎の複数町内会で組織する地区連絡協議会等と行う「まちづくり懇談会」の実施回数(年間)	回	5(H22)	9(H26)	10						11
指標2	ふるさと通信員欄の掲載回数	広報紙に「ふるさと通信員」の取材による地域の話題を掲載	回	12(H22)	12(H26)	12						12

●事務事業の実績

・事務事業1		単位	26年度実績(中間)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績	32年度実績	特記事項	担当課
事務事業名	まちづくり懇談会の実施	成果数値	回	9	10					【26年度】音更中央、木野中(2回)、鈴蘭、宝来(2回)、共栄、駒場、豊田 【27年度】音更中央、木野中、鈴蘭、宝来(2回)、共栄、駒場、豊田、東土幌、東土狩	広報広聴課
事業概要	地区連絡協議会等と町長と職員が懇談し、地域課題について意見交換を行う。	事業費実績	千円	—	—						
成果名	実施回数	評価	貢献度	3	3						
			達成度	3	3						

・事務事業2		単位	26年度実績(中間)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績	32年度実績	特記事項	担当課
事務事業名	「ふるさと通信員」欄の掲載	成果数値	回	12	12						広報広聴課
事業概要	広報紙に「ふるさと通信員」欄の掲載を行う	事業費実績	千円	6	6						
成果名	掲載回数	評価	貢献度	3	3						
			達成度	3	3						

評価基準  
 貢献度 3: 大きく貢献している(施策の内容に直結する事務事業) 2: 貢献している(施策を推進する事務事業) 1: 貢献していない  
 達成度 3: 順調に進んでいる(80~100%) 2: 一定程度進んでいる(50%~79%) 1: 遅れがある、未着手(50%未満)

●施策の点検・評価

	必要性		推進状況	
	評価	評価理由	評価	評価理由
26年度(中間)	5	第5期総合計画策定時から重点に位置づけてある施策であり、5評価とする。	5	懇談会は、各地域を会場としたものや、役場での開催も含め増加した。また、行政要望を受けて文書で回答するなど、地域が抱えている課題や意見の把握に努めている。町民参加型の情報発信については、ふるさと通信員の活用をはじめ、高齢者の町民の体験を広報紙に掲載するなど取り組んでいることから、5評価とした。
27年度	5	同上	5	昨年度と同様の状況であるため、5評価とした。
28年度				
29年度				
30年度				
31年度				
32年度				
評価基準	5: 重点及び早急に推進することが必要な施策 4: 更なる推進が必要な施策 3: 現状で推進する施策 2: 現状においては推進に時間を要する施策 1: 制度等の廃止や施策の達成により、推進の必要がない施策		5: 成果の推移等から順調に進んでいる(80~100%) 4: 一定程度進んでいる(50~79%) (標準) 3: あまり進んでいない、遅れがある(20~49%) 2: 着手した程度(20%未満) 1: 未着手(0%)	

施策評価	
指標の推移	指標のまちづくり懇談会の実施回数は10回となり、H26年度から1回増加した。ふるさと通信員欄の掲載回数は12回を継続し、最終年度目標値に並んでいる。
施策の課題	施策に課題等はなく、現施策により推進する。
総合評価(施策の方向性)	まちづくり懇談会については、町内会組織や住民活動などにおける現状や課題等のご意見を聴取し、これからのまちづくりに役立てるため開催している。今後も広く制度の周知に努めるとともに、町民の主体性を尊重した協働のまちづくりを進めるためにも、様々な枠組みで、よりきめ細やかに町民個々との対話の機会を工夫しながら施策を推進する必要がある。

■第5期総合計画：推進管理評価調書【施策（個表）】

重点施策	7 情報の共有を進め参加の輪が広がるまちづくり
------	-------------------------

分野	コミュニティ
----	--------

施策	まちづくりの場への町民参加の促進
----	------------------

●目標指標の推移

区分	目標指標名	説明	単位	当初数値(年度)	中間数値(年度)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績	32年度実績	目標値(H32)
指標1	審議会など、まちづくりに意見を提言する機会に参加したいと思う町民の割合	まちづくり町民アンケート(「そう思う、やや思う」と回答した割合)	パーセント	37.9(H20)	29.1(H26)	32.5						50.0

●事務事業の実績

・事務事業1		単位	26年度実績(中間)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績	32年度実績	特記事項	担当課
事務事業名	総合計画の推進	成果数値	パーセント	35.9	51.2					【26年度】 対象者 3,000人 【27年度】 対象者 1,000人	企画課
事業概要	まちづくり全般に対する町民の満足度をはじめ、まちの住みやすさ等を調査する。	事業費実績	千円	242	6,372の内						
成果名	まちづくり町民アンケートの回収率	評価	貢献度	3	3						
			達成度	3	3						

・事務事業2		単位	26年度実績(中間)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績	32年度実績	特記事項	担当課
事務事業名	パブリックコメント制度	成果数値	件	21	5					【26年度募集案件】 新型インフルエンザ等対策行動計画 0件、おとふけ障がい福祉総合プラン 4件、おとふけ男女共同参画プラン 0件、おとふけ生きいきプラン21 15件、音更町子ども・子育て支援事業計画 2件 【27年度募集案件】 第5期総合計画後期基本計画(素案)及び音更町まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案) 5件、音更町子どもの読書活動推進計画(第2期) 0件、音更町公営住宅等長寿命化計画 0件	広報広聴課
事業概要	計画策定等の際に町民から意見を伺う制度	事業費実績	千円	—	—						
成果名	町民からの意見数	評価	貢献度	3	3						
			達成度	2	2						

評価基準  
 貢献度 3: 大きく貢献している(施策の内容に直結する事務事業) 2: 貢献している(施策を推進する事務事業) 1: 貢献していない  
 達成度 3: 順調に進んでいる(80~100%) 2: 一定程度進んでいる(50%~79%) 1: 遅れがある、未着手(50%未満)

●施策の点検・評価

	必要性		推進状況	
	評価	評価理由	評価	評価理由
26年度(中間)	5	第5期総合計画策定時から重点に位置づけてある施策であり、5評価とする。	4	まちづくり町民アンケートは、第5期総合計画策定時から、町民参加のまちづくりを進めるため取り組んでおり、パブリックコメントも活用しながら町民参加に努めていることから、4評価とした。
27年度	5	同上	4	昨年度と同様の状況であるため、4評価とした。
28年度				
29年度				
30年度				
31年度				
32年度				
評価基準	5: 重点及び早急に推進することが必要な施策 4: 更なる推進が必要な施策 3: 現状で推進する施策 2: 現状においては推進に時間を要する施策 1: 制度等の廃止や施策の達成により、推進の必要がない施策		5: 成果の推移等から順調に進んでいる(80~100%) 4: 一定程度進んでいる(50~79%) (標準) 3: あまり進んでいない、遅れがある(20~49%) 2: 着手した程度(20%未満) 1: 未着手(0%)	

施策評価	
指標の推移	指標のまちづくりに意見を提言する機会に参加したいと思う町民の割合は、32.5パーセントとなり改善が見られたが、当初数値には至っていない。
施策の課題	施策に課題等はなく、現施策により推進する。
総合評価(施策の方向性)	まちづくりへの町民の参加を促進するため、審議会への公募や女性の参加には目標値を持って取り組んでいる。また、計画策定時のパブリックコメントやワークショップ、加えて、出前講座の開催やまちづくり町民アンケート等を実施している。町民がまちづくりに参加しやすい環境を整備しながら、関係団体等とも連携して施策を推進する必要がある。

重点施策	7 情報の共有を進め参加の輪が広がるまちづくり
------	-------------------------

分野	男女共同参画
----	--------

施策	人権の尊重を基本とする男女共同参画の意識づくり
----	-------------------------

●目標指標の推移

区分	目標指標名	説明	単位	当初数値(年度)	中間数値(年度)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績	32年度実績	目標値(H32)
指標1	男女の地位が平等になっていると感じている町民の割合	H25男女共同参画に関する町民アンケート(「平等」と回答した割合)	パーセント	—	16.2(H25)	16.2						30.0

●事務事業の実績

・事務事業1		単位	26年度実績(中間)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績	32年度実績	特記事項	担当課
事務事業名	男女共同参画啓発事業	成果数値	事業	1	3					【26年度実施事業】 男女共同参画まちづくり講演会 【27年度実施事業】 広報紙、ホームページによる啓発 企業向けパンフレットの配布	企画課
事業概要	男女共同参画の認識を深めるための啓発事業	事業費実績	千円	360	71						
成果名	実施事業数	評価	貢献度	3	3						
			達成度	3	3						

評価基準  
 貢献度 3: 大きく貢献している(施策の内容に直結する事務事業) 2: 貢献している(施策を推進する事務事業) 1: 貢献していない  
 達成度 3: 順調に進んでいる(80~100%) 2: 一定程度進んでいる(50%~79%) 1: 遅れがある、未着手(50%未満)

●施策の点検・評価

	必要性		推進状況	
	評価	評価理由	評価	評価理由
26年度(中間)	5	第5期総合計画策定時から重点に位置づけてある施策であり、5評価とする。	4	まちの男女共同参画施策を推進するため、「おとふけ男女共同参画プラン」の策定を行うとともに、町民を対象とした講演会を開催したことから、4評価とした。
27年度	5	同上	4	ワークライフバランスを啓発するチラシを町内の事業所に向けて送付するとともに、町広報紙やホームページによる啓発を行ったことから、4評価とした。
28年度				
29年度				
30年度				
31年度				
32年度				
評価基準	5: 重点及び早急に推進することが必要な施策 4: 更なる推進が必要な施策 3: 現状で推進する施策 2: 現状においては推進に時間を要する施策 1: 制度等の廃止や施策の達成により、推進の必要がない施策		5: 成果の推移等から順調に進んでいる(80~100%) 4: 一定程度進んでいる(50~79%) (標準) 3: あまり進んでいない、遅れがある(20~49%) 2: 着手した程度(20%未満) 1: 未着手(0%)	

施策評価	
指標の推移	指標の「男女の地位が平等になっていると感じている町民の割合」は、男女共同参画プランの中間年(31年度)をめどに検証のためのアンケート調査を予定しているため、前年度数値を用いている。
施策の課題	施策に課題等はなく、現施策により推進する。
総合評価(施策の方向性)	講演会の開催や広報紙、ホームページなどを活用して男女共同参画の啓発活動に努めており、施策の推進が図られている。協働のまちづくりを進める基本として、性別を問わず誰もが能力を発揮してあらゆる分野に参画できる男女共同参画社会の実現のためには、町民一人ひとりが認識を深めることが重要であることから、関係機関・団体等と連携して施策を推進していく必要がある。

■第5期総合計画：推進管理評価調書【施策（個表）】

重点施策	7 情報の共有を進め参加の輪が広がるまちづくり
------	-------------------------

分野	広報、広聴、情報公開
----	------------

施策	広報紙の充実
----	--------

●目標指標の推移

区分	目標指標名	説明	単位	当初数値(年度)	中間数値(年度)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績	32年度実績	目標値(H32)
指標1	「広報紙やホームページなどの情報提供」の満足度	まちづくり町民アンケート(「満足、やや満足、普通」と回答した割合)	パーセント	86.0(H20)	86.5(H26)	89.4						87.0
指標2	広報紙を読む町民の割合	まちづくり町民アンケート(広報紙を「読んでいる」「興味のあるところは読んでいる」と回答した割合)	パーセント	93.0(H20)	88.1(H26)	88.1						100.0
指標3	広報紙を設置している施設数	広報紙を設置している町内の主な公共施設等の数	箇所	31(H20)	32(H26)	32.0						32

●事務事業の実績

・事務事業1		単位	26年度実績(中間)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績	32年度実績	特記事項	担当課
事務事業名	広報紙の発行	成果数値	回	12	12					毎月1回発行	広報広聴課
事業概要	町からの情報発信として、毎月1回「広報おとふけ」を発行している。	事業費実績	千円	10,887	10,545						
成果名	発行回数	評価	貢献度	3	3						
			達成度	3	3						

・事務事業2		単位	26年度実績(中間)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績	32年度実績	特記事項	担当課
事務事業名	公共施設、コンビニ等への広報紙設置	成果数値	箇所	32	32					【設置箇所内訳】 公共施設(コミセン、文化センターなど)16施設 コンビニエンスストア 14店舗 コミュニティバス 2台	広報広聴課
事業概要	同上	事業費実績	千円	—	—						
成果名	設置箇所数	評価	貢献度	2	2						
			達成度	3	3						

評価基準 貢献度 3: 大きく貢献している(施策の内容に直結する事務事業) 2: 貢献している(施策を推進する事務事業) 1: 貢献していない  
達成度 3: 順調に進んでいる(80~100%) 2: 一定程度進んでいる(50%~79%) 1: 遅れがある、未着手(50%未満)

●施策の点検・評価

	必要性		推進状況	
	評価	評価理由	評価	評価理由
26年度(中間)	5	第5期総合計画策定時から重点に位置づけてある施策であり、5評価とする。	5	各種制度や施策について、広報紙による町民への周知が図られている。また、各公共施設やコンビニエンスストアでは一定数の持ち帰りがあり、広報紙を取得する手段として利用されていることから、5評価とした。
27年度	5	同上	5	前年度と同様の状況であることから、5評価とした。
28年度				
29年度				
30年度				
31年度				
32年度				
評価基準	5: 重点及び早急に推進することが必要な施策 4: 更なる推進が必要な施策 3: 現状で推進する施策 2: 現状においては推進に時間を要する施策 1: 制度等の廃止や施策の達成により、推進の必要がない施策		5: 成果の推移等から順調に進んでいる(80~100%) 4: 一定程度進んでいる(50~79%) (標準) 3: あまり進んでいない、遅れがある(20~49%) 2: 着手した程度(20%未満) 1: 未着手(0%)	

施策評価	
指標の推移	指標の「広報紙やホームページなどの情報提供」の満足度は、89.4パーセントとなり、最終年度目標値を上回った。広報紙を読む町民の割合及び広報紙を設置している施設数は、昨年度と同じ数値になっている。
施策の課題	施策に課題等はなく、現施策により推進するが、町内会未加入者には広報紙を配布をしない町内会もあるため、その対策として公共施設等への配置は引き続き必要であるが、町内会に依存しない他の配布方法の検討が課題となっている。
総合評価(施策の方向性)	広報紙に対する町民の満足度は増加しているとともに、町内会未加入者への対策も実施しており、施策の推進が図られている。広報紙の見やすさ、わかりやすさを考えた紙面づくりに努めるとともに、配布の方法を検討しながら、施策を推進していく必要がある。



重点施策	7 情報の共有を進め参加の輪が広がるまちづくり
------	-------------------------

分野	広報、広聴、情報公開
----	------------

施策	情報公開の推進
----	---------

●目標指標の推移

区分	目標指標名	説明	単位	当初数値(年度)	中間数値(年度)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績	32年度実績	目標値(H32)
指標1	パブリックコメント	町広報誌に掲載されたパブリックコメント案件の件数(年間)	件	1	5(H26)	3						5

●事務事業の実績

・事務事業1		単位	26年度実績(中間)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績	32年度実績	特記事項	担当課
事務事業名	情報公開条例に基づく開示決定件数	成果数値	件	35	18						情報・防災課
事業概要	町民などの請求で、町が公文書として持っている情報を開示する。	事業費実績	千円	—	—						
成果名	開示決定件数	評価	貢献度 達成度	3 3	3 3						

評価基準  
 貢献度 3: 大きく貢献している(施策の内容に直結する事務事業) 2: 貢献している(施策を推進する事務事業) 1: 貢献していない  
 達成度 3: 順調に進んでいる(80~100%) 2: 一定程度進んでいる(50%~79%) 1: 遅れがある、未着手(50%未満)

●施策の点検・評価

	必要性		推進状況	
	評価	評価理由	評価	評価理由
26年度(中間)	5	第5期総合計画策定時から重点に位置づけてある施策であり、5評価とする。	5	広報紙やホームページにより町の情報を公開しているほか、情報公開条例に基づく公文書の開示を行っていることから、5評価とした。
27年度	5	同上	4	広報紙やホームページにより町の情報を公開しているほか、情報公開条例に基づく公文書の開示を行ったが、パブリックコメント案件の件が3件と減少したため、4評価とした。
28年度				
29年度				
30年度				
31年度				
32年度				
評価基準	5: 重点及び早急に推進することが必要な施策 4: 更なる推進が必要な施策 3: 現状で推進する施策 2: 現状においては推進に時間を要する施策 1: 制度等の廃止や施策の達成により、推進の必要がない施策		5: 成果の推移等から順調に進んでいる(80~100%) 4: 一定程度進んでいる(50~79%) (標準) 3: あまり進んでいない、遅れがある(20~49%) 2: 着手した程度(20%未満) 1: 未着手(0%)	

施策評価	
指標の推移	指標の「パブリックコメント案件の件数」について、26年度は目標値を達成していたが、27年度は3件しか実施しなかったため、目標値を達成できなかった。
施策の課題	情報公開条例に基づき、町の情報の積極的な公開を進めるため、現施策を推進する。
総合評価(施策の方向性)	町民との協働のまちづくりを進めるためには、情報の共有が不可欠であり、情報公開条例の趣旨に則り、引き続き広報紙やホームページなど各種媒体の充実を図り、町の情報の積極的な公開を推進する必要がある。また、より見やすい、検索しやすいホームページにする必要がある。

■第5期総合計画：推進管理評価調査【施策（個表）】

重点施策	7 情報の共有を進め参加の輪が広がるまちづくり
------	-------------------------

分野	広報、広聴、情報公開
----	------------

施策	ホームページの充実、インターネットの活用
----	----------------------

●目標指標の推移

区分	目標指標名	説明	単位	当初数値(年度)	中間数値(年度)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績	32年度実績	目標値(H32)
指標1	ホームページアクセス数	ホームページへの年間アクセス数	件	267,717(H21)	391,646(H26)	421,266						510,000
指標2	「広報紙やホームページなどの情報提供」の満足度	まちづくり町民アンケート(「満足、やや満足、普通」と回答した割合)	パーセント	86.0(H20)	86.5(H26)	89.4						87.0
指標3	ホームページからの投稿	ホームページ上に開設している町への意見・質問コーナー「みんなの声」の件数(年間)	件	33(H22)	46(H26)	47						46

●事務事業の実績

・事務事業1		単位	26年度実績(中間)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績	32年度実績	特記事項	担当課
事務事業名	ホームページ運営管理	成果数値	件	391,646	421,266					194千円は、ホームページ管理費	広報広聴課
事業概要	町ホームページの運営管理	事業費実績	千円	194	194						
成果名	ホームページアクセス数(年間)	評価	貢献度	3	3						
			達成度	3	3						

・事務事業2		単位	26年度実績(中間)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績	32年度実績	特記事項	担当課
事務事業名	ホームページからの意見、質問	成果数値	件	46	47						広報広聴課
事業概要	同上	事業費実績	千円	—	—						
成果名	投稿数	評価	貢献度	2	2						
			達成度	3	3						

評価基準 貢献度 3: 大きく貢献している(施策の内容に直結する事務事業) 2: 貢献している(施策を推進する事務事業) 1: 貢献していない  
 達成度 3: 順調に進んでいる(80~100%) 2: 一定程度進んでいる(50%~79%) 1: 遅れがある、未着手(50%未満)

●施策の点検・評価

	必要性		推進状況	
	評価	評価理由	評価	評価理由
26年度(中間)	5	第5期総合計画策定時から重点に位置づけてある施策であり、5評価とする。	5	ホームページのアクセス件数は年々増加しており、情報源として活用されている。また、メールによる町への意見・質問なども一定数あることから、5評価とした。
27年度	5	同上	5	平成28年2月に一部リニューアルを実施。前年度に引き続きアクセス件数は増加し、メールによる町への意見・質問なども一定数あることから、5評価とした。
28年度				
29年度				
30年度				
31年度				
32年度				
評価基準	5: 重点及び早急に推進することが必要な施策 4: 更なる推進が必要な施策 3: 現状で推進する施策 2: 現状においては推進に時間を要する施策 1: 制度等の廃止や施策の達成により、推進の必要がない施策		5: 成果の推移等から順調に進んでいる(80~100%) 4: 一定程度進んでいる(50~79%) (標準) 3: あまり進んでいない、遅れがある(20~49%) 2: 着手した程度(20%未満) 1: 未着手(0%)	

施策評価	
指標の推移	指標のホームページの年間アクセス数は、前年度から7.6パーセント増加している。「広報紙やホームページなどの情報提供」の満足度は、89.4パーセントとなり、最終年度目標値を上回った。ホームページからの投稿は、47件となり、昨年とほぼ横ばいである。
施策の課題	施策に課題等はなく、現施策により推進するが、閲覧者にとって見やすく、検索しやすいものとなるよう引き続き努める必要がある。広聴機能としては、町への意見、質問用の専用フォームを設けるなど、閲覧者がより利用しやすい工夫が必要である。
総合評価(施策の方向性)	ホームページのアクセス数は着実に伸びており、広聴手段としての意見や要望などを投稿できるコーナーも一定の利用がある。施策の推進が図られているが、更に閲覧者が利用しやすい環境整備に努める必要がある。

重点施策	7 情報の共有を進め参加の輪が広がるまちづくり
------	-------------------------

分野	財政運営
----	------

施策	健全な財政運営の推進
----	------------

●目標指標の推移

区分	目標指標名	説明	単位	当初数値(年度)	中間数値(年度)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績	32年度実績	目標値(H32)
指標1	実質公債費比率	借金の返済額がどの程度かを示す比率。比率が高いほど財政状況が悪いことを示し、25%を超えると財政健全化計画を策定する必要がある。	パーセント	15.0(H20)	10.9(H26)	10.3						11.0
指標2	経常収支比率	人件費・扶助費・公債費などの経常的経費がどの程度かを示す比率。比率が低いほど、財政に弾力性があることを示す。	パーセント	84.9(H20)	88.7(H26)	84.9						86.5

●事務事業の実績

・事務事業1		単位	26年度実績(中間)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績	32年度実績	特記事項	担当課
事務事業名	音更町中期財政運営計画の策定・見直し	成果数値	回	1	1						財政課
事業概要	財政収支の中長期的計画の作成(音更町財政運営計画 H28~H32)	事業費実績	千円	—	—						
成果名	中期財政運営計画の策定・見直し回数	評価	貢献度	2	2						
			達成度	3	3						

・事務事業2		単位	26年度実績(中間)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績	32年度実績	特記事項	担当課
事務事業名	財政状況等の公表	成果数値	回	2	2						財政課
事業概要	財政状況の公表に関する条例に基づく公表(6月及び12月)	事業費実績	千円	—	—						
成果名	財政状況等の公表回数	評価	貢献度	2	2						
			達成度	3	3						

・事務事業3		単位	26年度実績(中間)	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度実績	32年度実績	特記事項	担当課
事務事業名	「まちの台所」の発行	成果数値	冊	15,000	15,000						財政課
事業概要	町財政の現状と課題を紙面で町民にわかりやすく周知する。	事業費実績	千円	672	680						
成果名	発行部数	評価	貢献度	2	2						
			達成度	3	3						

評価基準 貢献度 3: 大きく貢献している(施策の内容に直結する事務事業) 2: 貢献している(施策を推進する事務事業) 1: 貢献していない  
 達成度 3: 順調に進んでいる(80~100%) 2: 一定程度進んでいる(50%~79%) 1: 遅れがある、未着手(50%未満)

●施策の点検・評価

	必要性		推進状況	
	評価	評価理由	評価	評価理由
26年度(中間)	5	第5期総合計画策定時から重点に位置づけてある施策であり、5評価とする。	4.50	・健全な財政運営に努めているが、経常収支比率は、補助費等や維持補修費、繰出金等の増大により、対前年度比6.6パーセントの増となったため、4評価とした。(財政課) ・水道事業、下水道事業ともに純利益が発生し、下水道事業については、起債残高及び元利償還金が減少しており、経営状況の改善が図られていることから、5評価とした。(上下水道課)
27年度	5	同上	5	・引き続き健全な財政に努めているが、経常収支比率は、公債費や扶助費の減少により、対前年度比3.8パーセントの減となり改善が図られたため、5評価とした。(財政課) ・昨年度と同様の状況であるため、5評価とした。(上下水道課)
28年度				
29年度				
30年度				
31年度				
32年度				
評価基準	5: 重点及び早急に推進することが必要な施策 4: 更なる推進が必要な施策 3: 現状で推進する施策 2: 現状においては推進に時間を要する施策 1: 制度等の廃止や施策の達成により、推進の必要がない施策		5: 成果の推移等から順調に進んでいる(80~100%) 4: 一定程度進んでいる(50~79%) (標準) 3: あまり進んでいない、遅れがある(20~49%) 2: 着手した程度(20%未満) 1: 未着手(0%)	

施策評価	
指標の推移	経常収支比率は、公債費や扶助費の減少により、対前年度比3.8パーセントの減となった。実質公債費比率は、一貫して減少傾向が続いている。
施策の課題	施策に課題等はなく、現施策により推進する。
総合評価(施策の方向性)	限られた財源を効率的かつ効果的に活用するため、基金への積立を行うとともに、中期財政運営計画に基づいた適切な予算執行や主要事業の取りまとめを行いながら引き続き健全な財政運営に努める必要がある。